



人間国宝 野村万作

この辺りの者でござる。
から始まる、
人間賛歌の喜劇

2018年(平成30年)

11月29日(木)

18:30開演(18:00開場)

東広島芸術文化ホールくらら
大ホール

野村 万作・萬斎 狂言の世界 2018

演目解説／高野 和憲

さ と ぎつね
佐 渡 狐
ぼう しぼり
棒 縛

佐渡の百姓／野村 万作

太郎冠者／野村 萬斎 ほか

【チケット料金】 全席指定(税込)

一般:S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円

学生B席(大学生以下):2,500円

*購入時または公演入場時要学生証提示

くららフレンズ:S席4,500円 A席3,600円
B席2,700円

*未就学児の入場はご遠慮ください。

有料託児サービスがございます。(予約制・詳細はHP参照)

■「くららフレンズ」先行販売

くららチケットセンター窓口:8月23日(木) 10:00~

くらら電話・インターネット:8月24日(金) 10:00~

■一般販売 8月30(木) 10:00~

くらら窓口・電話、インターネット

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード487-833)

主催:東広島市教育委員会／東広島芸術文化ホール指定管理者
中国新聞社



野村萬斎

東広島芸術文化ホールくららチケットセンター

〒739-0015 東広島市西条栄町7-19(10:00~19:00土日祝営業)

TEL 082-426-5990 <http://kurara-hall.jp>

【交通アクセス】新幹線 東広島駅下車、タクシー約15分

JR山陽本線 西条駅下車、徒歩4分／芸陽バス「中央公園前」下車0分

●くらら敷地内には一般駐車場がありませんので、できるだけ公共交通機関でお越しください。

番組

解説／高野 和憲

七つ子 石田 淡朗

小舞 暁 飯田 豪

地謡 中村 修一
高野 和憲
内藤 連

佐渡狐

佐渡の百姓 野村 万作

越後の百姓 月崎 晴夫
奏者 深田 博治

後見 石田 淡朗

あらすじ

年貢を納めに都へ上る途中で道連れになった佐渡と越後のお百姓。佐渡に狐のいるいないを巡り賭けをするようになったが、実は佐渡に狐はおらず、狐を知らない佐渡のお百姓は、奏者（取次の役人）にワイロを使い味方についてもらう。しかし奏者の「佐渡に狐はいる」という判定に納得のいかない越後のお百姓に、狐の形格好を問いただされ…。

越後のお百姓の追及に必死で答える、佐渡のお百姓と奏者の連携プレーが見どころです。世相を風刺しつつ、中世の人々のたくましく生きる姿が笑いの中に描かれた狂言です。

／休憩十五分／

棒縛

太郎冠者 野村 萬斎

主 中村 修一
次郎冠者 内藤 連

後見 飯田 豪

あらすじ

二人の来客が、留守番中に酒蔵の酒を盗み飲んでしまった主人は、太郎冠者を棒に、次郎冠者を後ろ手に縛って出かけてしまふ。それでも酒が飲みたい二人は知恵を絞る、縛られたまま酒を飲むことに成功する。酔った二人が謡えや舞えやと大騒ぎしていると…。

自由の利かない手で酒蔵の戸を開けたり、舞を舞ったりと、遊び心に裏付けされた自由さがある作品です。観ているこちらにも心楽しくなる、狂言の代表作の一つです。

人間国宝

野村 万作

(のむら まんさく)



1931年生まれ。故六世野村万蔵の次男。祖父故初世野村萬斎及び父に師事。重要無形文化財各個指定保持者（人間国宝）、文化功労者。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。狂言の最高秘曲である『釣狐』の演技で芸術祭大賞を受賞した他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞など多くの受賞歴を持つ狂言会の人宝。国の内外で狂言普及に貢献。古典はもとより新しい試みにもしばしば取り組み、好評を博している。代表作に『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』『秋江』『法螺侍』等がある。

野村 萬斎

(のむら まんさい)



1966年生まれ。野村万作の長男。祖父故六世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外の狂言・能公演はもとより、現代劇や映画の主演、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、『子午線の祀り』の再演で2017年度毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞を受賞。世田谷パブリックシアター芸術監督。

